

2023年7月 第十八号

発行元: みらいく 信州子育てみらいネット 広報担当

# オンライン保育園がスタートしました!

5月10日、オンライン保育園のサービスを開始しました。妊娠中の方から保育園・幼稚園等の入園前のお子さんを持つ方を対象に、実際の保育園のようなプログラムを配信して園での生活を疑似体験できるのが魅力の一つです。栄養士や看護師など各専門家に相談ができ、保護者同士が交流できるイベントも定期的に開催していくので、孤独を感じることが少なくなるよう家での子育てをサポートしていきます。

今回は事業立ち上げから関わる園長の唐木さん、担当保育士の高田先生にインタビューさせていただきました。

## ●オンライン保育園園長 唐木さやかさんのお話



「フリーアナウンサーがオンライン保育園の園長に」というのは意外性があるようで、理由を聞かれることが多いです。私は2018年に出産した長男、そして2021年に出産した長女の2人の子どもがみらいくにお世話になっていました。みらいくがなければ、こんなに元気に「働くママ」として復帰していただろうと思うほど、先生方には本当に心身ともに支えていただきました。オンライン保育園に携わったきっかけは、とにかくみらいくのファンであることが大きな理由のひとつです。また、現在のYouTubeチャンネル「子育てポケット」の前身となるケーブルテレビ番組にMCとして関わらせていただき、「子育て中の皆さんに有益な情報を届けよう」という法人の熱意に共感したことも一つの理由です。コロナによって世の中も子育てのカタチも大きく変化し戸惑うことが多く、いろんなことに悩みました。でもそれはきつとどの時代のお母さんもみんな同じで、正解がわからない子育てに奔走しているのだと思います。そんな頑張るお母さんたちの心の拠り所となるような「オンライン保育園」で、みらいくの先生方のあたたかさを知っている私が、話すことを仕事にしてきた強みを生かして発信していきたいと思いました。

特に本領発揮できるのは「オンライン子育て座談会」だと思っています。アナウンサーの仕事では「初めて会った方に突然インタビューをする」という経験をたくさんしてきました。その中で培った「相手の緊張感をほぐす」「話したいことを引き出す」という特技を生かし、参加者の皆さんが楽しくおしゃべりをして「よし、また一週間頑張ろう!」と思えるようなフリッシュの時間にできたらと思っています。「園長」という肩書きではありませんが、中身はただのおしゃべりお母さんです。子育て中の皆さんと同じ目線で一緒に楽しんでいきたいと思っています!



▲Instagramも開設



▲詳しくはオンライン保育園HPをご覧ください



話ができる存在になれると嬉しいな、と思っています。

子どもを産み、育てる…子育てって本当に大変です。子育てに正解はないと言いますが、不安や悩みは尽きません。そんな時は、専門家と一緒に「最適解」を考えましょう。一緒に子育てを楽しみながら、何でも相談できる身近な応援団、それがオンライン保育園です!

## ●オンライン保育園担当保育士 高田やよい先生のお話

立ち上げた当初は「こんなことをしたい」という思いはあっても、実際にどんなものを作っていくのかが見えない所からのスタートでしたので、「思い」を形にしていく過程がとても大変でした。保育者という立場から、お子さんが楽しんでくれることはもちろんですが、保護者さんの悩みや思いに寄り添うことを大切にしていきたいです。通園する保育園の保護者さんと同じように、気軽に声をかけ

# 穂高みらいく保育園開園

5月10日、安曇野市に新しく『穂高みらいく保育園』が開園しました。安曇野市から認可を受けた、小規模保育園です。法人としては中信地域に初めてグループ園ができ、安曇野市の子育て環境整備に貢献しつつ、「子育てしやすい未来」へ着実に近づいています。

## ●園長 森山先生からご挨拶



この度、穂高みらいく保育園の園長になりました。森山ゆりかです。みらいくとしては初めて安曇野市内に開園しました。園の周り

には畑や田んぼがたくさんあり、とてもどかな環境でのびのびと保育をしています。お散歩ではちようど田植えの時期の開園でしたのでその様子をながめたり、子どもたちがワクワクしてくれそうなことを意識しながら散策しています。5月に開園したばかりでまだ園児さんは少ないのですが、今後少しずつにぎやかになっていく予定です。子どもたちが楽しく元気に過ごせるような保育ができるよう、職員一同しっかりと力を合わせて頑張りたいと思っています。

これから地域の方、ご近所の方々と交流をすすめていき、例えばお隣の田んぼや畑などにお邪魔させていただく機会を作るなど、子どもたちのいろんな経験の助けになればいいなと考えております。

## ●園の概要

穂高みらいく保育園  
所在地: 安曇野市穂高柏原1261-2  
電話: 0263-88-2036  
定員: 19名(0歳児6名、1歳児6名、2歳児7名)  
HP: <https://chikihokiku.net/pr/school/notaka/>



## ●副主任 小平先生

周りは自然豊かで園庭も広く、楽しく保育ができそうなとても良い環境だなと感じました。子どもたちも走り回って元気に遊ぶ姿が見られ、野菜も育て始めたので興味を持ってもらえているようです。お散歩先はまだコースが定まっておらず、様々な模索しながら楽しみたいと思います。

## ●保育士 西先生

まだ子どもが少ないので、思っていたよりも丁寧の様子を見ながら関わっています。他の先生方と細かく共有や確認をしながら、一緒に楽しく保育ができていくと感じています。はじめて担任を持ち、自分のクラスの子のために環境を整えたり何か作ってあげたりなど、自分で考えてできることにやりがいを感じ、とても楽しく思いながら過ごしています。

## ●保育士 柳沢先生

新卒で採用していただき、開園当初から携われるのはとても貴重な経験だなと思っています。子どもたちと一緒に自分自身も成長できていると毎日感じられています。毎日未満児さんと過ごしていて、保育を学んでいた頃より成長のスピードが早いことに気づかされ、子どもたち以上に自分も成長しなくてはと焦りを感じてしまう時もあります。

## ●保育士 古幡先生

母子登園をしています。子どもと一緒に通ってみて、はじめは初めて離れることに不安を感じましたが、ふとした時に子どもの知らなかつた成長している部分が見えるなど嬉しく感じます。同じ職場で預けながら働けるので、離乳食を食べている様子やちらっと見せてもらえたり、ママさんが多い職場なので病院受診時などの理解を得やすかったり、とても働きやすさがあると思います。



# 各園よりご挨拶

新年度スタートにあたり各園管理の先生からメッセージをいただきました。

みらいく保育園



園長 大日向先生

新しい友たちをお迎えして新年度がスタートしました。保育園は子どもたちの大切な成長の場であり、安心して遊び、楽しく過ごせる居場所でもあります。子ども達ののびのびと遊び、沢山の経験や発見を共に喜び、子ども達一人ひとりの個性を大切にしながら、心身の健やかな成長をサポートしていきます。

みらいく小布施



施設長代理 近藤先生

今年度より施設長となりました近藤美紀です。小布施園には以前現場の保育士として勤務していましたが、今年度中野園と兼務という形で施設長として戻ってくる事が出来ました。私が現場にいたころは違い規模が大きくなりましたが、地域に密着したアットホームな雰囲気は以前と同じで懐かしく感じています。

みらいく高田



施設長代理 守屋先生

昨年に引き続き、みらいく高田の施設長代理を務めさせていただきます守屋千智です。高田園に来て5年目となります。高田園は子どもも職員も常に『全力』です！どんなことにも前向きに意欲的に取り組んでくれます。そんな元気いっぱいの高田園が私は大好きです。

夜の保育園みらいく



主任保育士 松木先生

私たちの園が開園してから5年が経ちました。この間、保護者の皆様や地域の皆様には温かいご支援ご協力をいただき、本当に感謝しております。夏祭りやハロウィンなどさまざまな園の行事活動にも積極的にご協力をいただきましたし、地域のお祭りでは音楽に参加してポップコーンをいただいたり、お琴の演奏をきいたりして楽しく参加する事ができました。

# 法人の行事



## 職員レクリエーション

今回はコロナによる延期を経てようやく開催でき、各ゲーム寒さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。



- ☆福女(じゃんけん女王)
- 2022年度 中島先生(県町)
- 2021年度 滝口先生(県町)
- 2020年度 伊藤先生(三子)

## 2023年度入職式

4月3日、みらいく職員入職式が行われました。



今年も多く仲間がみらいくに加わり、「自分が働くを知る」「一緒に働く仲間を知る」というシンプルで最も大事な目標を共有し、グループワークなどを通して和気あいあいとしながら理解を深めていきました。

## 意見交換会



5月23日、新入職員と管理職員の意見交換会が開催されました。新入職員はそれぞれ働いてみて感じた率直な意見や質問を一人ずつ発言し、それに対して担当部門の管理職員が一つ一つの丁寧に返答していました。その後のお茶会では、普段なかなか話す機会がもてない園同士が情報交換をするなど有意義な交流の時間となりました。

# 行事紹介

## \*春の遠足\*



みらいく県町

計画担当 和泉先生



今回は天候になかなか恵まれず遠足を延期したのですが、延期した日も厳しかったため中止となってしまいました。室内での活動に切り替えたのですが、子どもたちは残念そうにすることもなくむしろ元気いっぱい体を動かしてボールプールやサーキット遊びをとても楽しんでくれました。お昼はお弁当だったのですが、せっかくなので2歳児はレジャーシートを敷いてみんなで顔を見合わせて、ピクニックの気分を味わいながら食べました。やはり普段とは雰囲気の違い、目をキラキラ輝かせている姿が印象的でした。

みらいく保育園

計画担当 高松先生



今年度は全クラスで遠足に行きました。公園に着いて、ブルーシートの上でおやつを食べながらローラー滑り台や広い芝生で遊びました。子どもたちは保育者と一緒に滑り台を楽しんだり、虫の観察をしたり木の葉やシロツメクサなどの草花を取ったりと、春の自然にも触れながら時間いっぱい楽しんでいました。芝生では、お友達と追いかけてくっついて広々と走り回って楽しんでいました。

みらいく小布施

計画担当 原先生



当日は朝おやつを持って公園へ遠足に行きました。普段と違う場所での朝おやつにワクワクしていたのか、「外で食べるの楽しいね」などの声も聞こえてとても喜んで食べている姿が見られました。おやつを食べ終わってからみんなで遊び始めたのですが、公園の遊具はすでに気温が高くなってしまっていて、遊ぶことができませんでした。それでも子どもたちは広いスペースを使ってかけっこをしたり、しゃぼん玉をしたりなどたくさん動いて楽しく過ごることができたので良かったです。

みらいく早苗町

計画担当 稲守先生



当日はいつもより早く出発し、公園についてからおやつを食べました。その後水遊びをしたり遊具で遊んだり、今回はしっかり遊びこむ遠足となりました。とても天気良かったので、とくに水遊びを楽しむことができました。大きめの噴水だったので、はじめは怖がっていた子どもたちもだんだん慣れてくると自分から水を触りに行ってみたり、アーチ状に噴水されているところをくぐりぬけてみたりと、とくに水遊びが好きな子は全身いしょいしょになって楽しんでる姿が見られました。他の遊具も賞し切り状態だったので思いっきり楽しめたようです。

みらいく高田

計画担当 松井先生



天気も良く、各クラス順番に遠足へ出発し公園に着いてからブルーシートを敷いてみんなでおやつを食べることができました。普段お外で食べる機会がなかなかないので、「おやつおいしいね」「たのしいね」といつもよりも楽しそうにお話する姿が見られました。0歳児さんはお昼寝の時間に重なっていたこともあり、ポカポカ陽気で気持ちよさそうに寝ている子が多かったです。1・2歳児さんは遊具で遊んでみたり、芝生で走り回って遊んだりたくさん体を動かしてそれぞれ楽しんでいました。

中野みらいく保育園

計画担当 帯刀先生



当日の予定では全クラス合同で少し遠めの広場まで遠足に行こうとしたのですが、前日の雨の影響で風が冷たかったこともあり、園の周りをお散歩した後、園庭でおやつを食べることでピクニックの雰囲気を味わうことにしました。2歳児さんはお昼のお弁当も園庭にシートを敷いて食べることができたのでいつもとは違う様子を楽しんでくれたかなと思います。

# 行事紹介

## \*11月のぼり運動会\*

夜の保育園みらいく 計画担当 川崎先生



はじめにみんなで忍者の格好に変身して、準備体操で「にんじや体操」を踊りました。今回の競技は忍者にちなんだ手裏剣的当て、障害物競走、かけっこを行いました。最近子どもたちが忍者ごっこをしていることがあり、手裏剣を作ってあげると喜んで投げたことから運動会のテーマを「忍者」にしてみようと決めました。

小さな子どもたちは衣装着るのを嫌がるかなと予想していたのですが、ほとんどの子は喜んでずっと着ていてくれました。手裏剣投げは折り紙なのでボールと違って少し難しかったようですが、お兄さんたちを見て真似して一生懸命投げたり、好きな手裏剣を選んでみたりと楽しそうに参加していました。大きな子どもたちは「がんばれー!」としっかり応援しながら、自分たちもわいわいと盛り上がっていました。自分の番になると、かっこいいところを見せたくてはりきっている姿もありました。今回は運動会の雰囲気を楽しむことがねらいでしたが、子どもの成長に合わせてジャンプしたりくぐったりなど動きを増やし、今後の主活動や遊びの中にも取り入れていくと考えています。



# 食育



## みらいく保育園食育

### 野菜スタンプ

みらいく保育園では、食育に野菜スタンプを取り入れています。子どもたちがそれぞれ思い思いに野菜のスタンプを押して完成した作品は、子どもたちがお散歩時に持っていく入れ物の柄になり、素敵なおさんぽバックとして活躍します。計画担当の先生にお話を伺いました。



●栄養士 繋野先生のお話

例年6月頃に野菜スタンプの食育を実施していましたが、すぐ梅雨の時期になってお散歩の回数が減り、おさんぽバックを使う機会が少なくなるため、今年は早めに計画することにしました。使う野菜は断面が面白くなるべく子どもたちが興味を持ってそうなものを選びました。当日子どもたちは夢中でスタンプを押していて、楽しんでもらえたようで嬉しかったです。また、使った野菜と同じものを全てその日の給食の献立にも取り入れ、給食時に「今日これスタンプしたね」「この野菜使ったね」と子どもたちとお話できるように工夫しています。

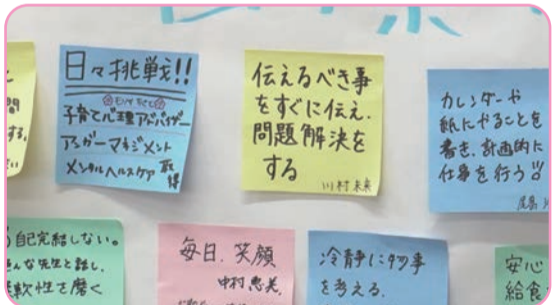
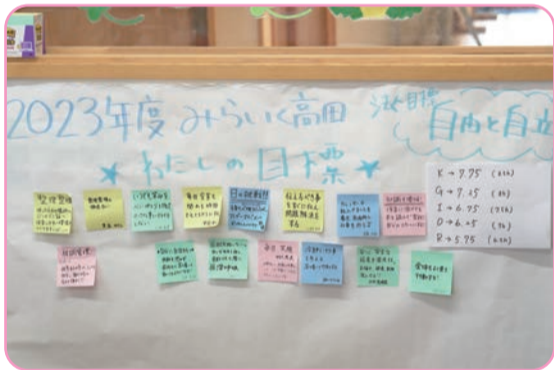


# ピックアップ!!

## みらいく高田 新たな取り組み

高田園では、職員一人一人がそれぞれ今年度の目標を掲げ、見える化する取り組みを始めました。職員が入り出す事務室に常に掲示しておくことで、ふとした時に目に入って再度意識するきっかけにもなり、個々のモチベーションアップにつながっています。

また、Good & Newの試みを朝礼時にいち早く取り入れ、情報共有がより円滑に行われていました。話しやすく心地よい職場の雰囲気づくりに努め、さらなるチームワークの向上に役立てています。



## LINE 公式アカウント導入



今年度、みらいくでは全園で「LINE公式アカウント」を導入し、さらなるICT化に向けて取り組んでいます。みらいくではすでに園児の登降園、職員の出退勤などを「コドモン」というアプリのシステムを使って管理しており、LINE公式アカウントと併用することで保護者様との連携をよりスムーズに、また業務面での効率化も期待されています。導入してみたいの使い勝手や課題点など各園の先生方に伺いました。

●お仕事中の保護者さんに電話をする必要がある時、やはりすぐには通じない時もあります。そこでLINEを送っておくと以前より気づいてもらいやすくなったかなと感じています。

●お子さんの状態を伝えたい時に、LINEですぐに伝えられるし、保護者さんも先に文章で読むと少し安心してもらえるのではないかと思います。

●お休みの連絡がコドモンかLINEかどちらかにしか入っていないことがあるので、まだ業務面での改善の余地があると感じました。

●お子さんの緊急ではない症状(発疹や小さなケガ等)を伝えたい時、写真を撮ってすぐに送ることができて便利です。

●体調不良等で欠席連絡が来た時「お大事にしてください」など気遣いの一言がさっと返信でき、少人数ならではのメリットですが保護者さんとのコミュニケーションの一つになりました。

●全体連絡も各保護者さんと個別のやりとりも簡単に素早く対応できるのが便利だと感じます。

## おさんぽ♪

作: 海沼先生(夜の保育園みらいく)

